

あなたもステージに立ってみませんか？

第九回市民参加のてづくり舞台 参加者募集

みなさんが主役の会津発信の舞台「てづくり舞台」を来年7月に開催します。脚本・演出は磐梯町出身のプロの脚本家・演出家の古川貴義さんが担当します。約9カ月の稽古期間がありますので、初めての方も大歓迎です。ぜひご応募ください。

募集内容

- A. 出演者 B. 舞台スタッフ（音響・照明・美術・道具等）
C. 制作（出版物編集・広告宣伝・記録等）

応募方法 次の①から⑥を明記して、はがき、FAX、メールのいずれかでお申し込み下さい。

- ①氏名（ふりがな） ②性別 ③住所 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥A～Cのうち希望する部門

申込み先 〒965-0807 会津若松市城東町12番1号 會津風雅堂「てづくり舞台」係
FAX.0242-29-8329 info@aizu-bunka.jp ※10月10日（月）消印有効

お問い合わせ 會津風雅堂 TEL.0242-27-0900

※稽古は平日夜間（19:00～21:00）が中心です。 ※参加料は無料です。

※公演日は令和5年7月22日（土）及び23日（日）の2日間です。7月19日から21日に行う準備・リハーサルにも必ずご参加ください。

※11月頃から週1回程度、台本理解とキャスト決定の為の読み合わせを行います。公演日が近くなるにつれ、稽古の回数が増えますので、予めご了承ください。

- 各種ガイドラインに基づいた感染拡大防止対策を適切に行ったうえで稽古を実施します。
- 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、公演を延期する場合があります。



前回「長い、会い直し」より



公演準備の様子

○てづくり舞台とは？

会津の人物や事柄をテーマとした舞台作品を、地域の皆さまの手によって制作・実施する事業で、3年に1度のペースで開催しています。

< 目的 >

- 参加者や来場者が会津について見識を深めていただくこと
- 舞台芸術について理解を深めるとともに、作品を創り上げる喜びを感じていただくこと
- 参加者の連帯により地域に新しい絆ができること

○“会津農書”とは

江戸時代中期に佐瀬与次右衛門によって書かれた農業指導書。会津の農業技術を体系化し、会津の農業の礎を築いたとされる農書。文字が読めなかった農民のために、教えを歌や絵で綴った「会津歌農書」も残されている。

近年ではSDGsや無農薬有機農法の観点からも再注目されており「会津農書」に書かれた伝統的な農法に基づき、会津清酒の酒粕を肥料として栽培されたコシヒカリを「AiZ'S-RiCE (アイツライス)」としてブランド展開する等、地域の魅力発信に活用されている。

○ 脚本・演出：古川貴義 (箱庭円舞曲 主宰)



磐梯町出身。会津高等学校卒。

日大芸術学部在学中の2000年「箱庭円舞曲」を旗揚げ。以降代表として全ての作品の脚本・演出をてがける。

人間は、あまねく勝手に生きている。これ故に孤独であり、いつも誰かと食い違う。そんな極めて日常的な人間関係を細微に描くリアリズムと、そこに漂うズレたコミュニケーションの可笑しみ、そして脳内を抉られるような感覚が人気を博している。

【 お問い合わせ 】 會津風雅堂 TEL. 0242-27-0900